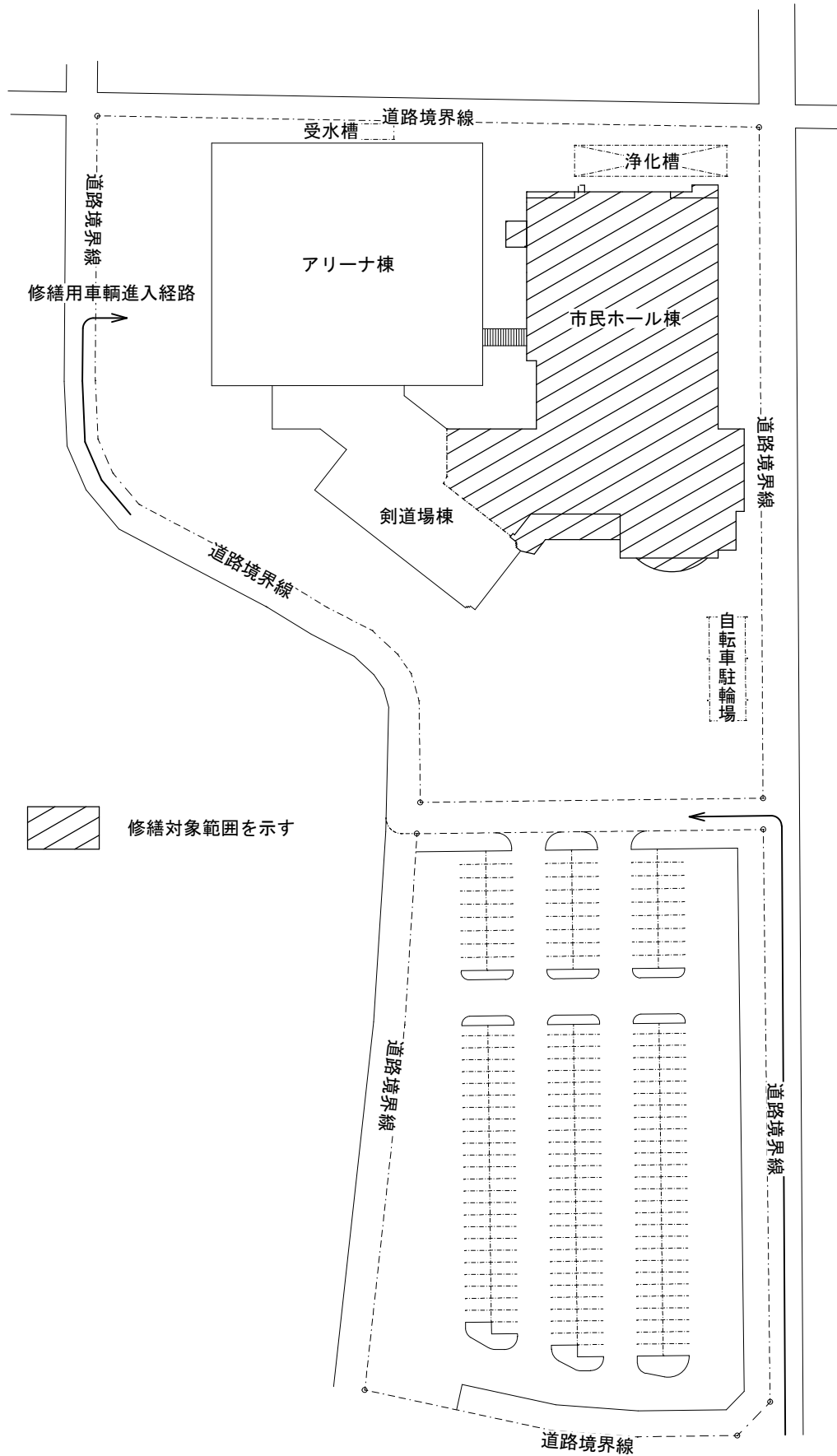
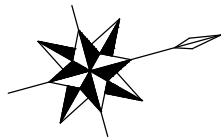




特記事項

(修繕概要)

- ・本修繕は、津市芸濃総合文化センターにおける、火災報知設備の取替を行うものである。

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・修繕期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。
- ・本修繕は、原則平日作業とする。土日祝作業については監督員、施設管理者と協議のうえ決定すること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、修繕過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本修繕に含む。
なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・修繕用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・修繕の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行うこと。
なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
- ・修繕用車両及び修繕関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、修繕着手及び修繕完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、修繕着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、修繕完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

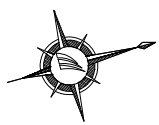
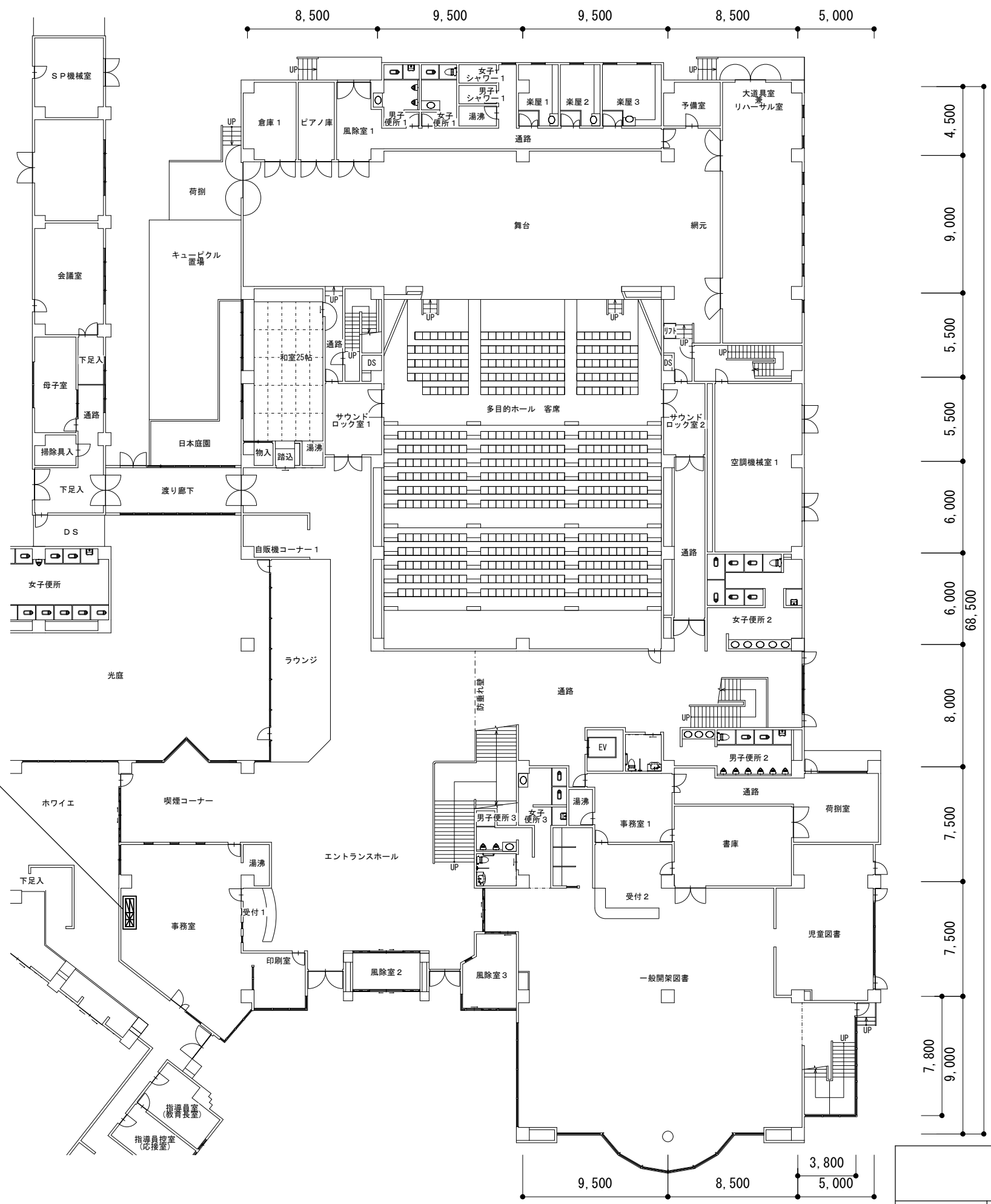
(解体撤去処分)

- ・本修繕により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
また、修繕着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・修繕完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。

(適用基準)

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気設備工事編）令和4年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気設備工事編）令和4年版」
「公共建築設備工事標準図（建築、電気設備工事編）令和4年版」
「建築、電気設備工事監理指針令和4年版」
その他関係法令

津市芸濃総合文化センター火災報知設備取替修繕		縮尺 1/1200
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A 3
津市建設部営繕課		No. 1/3



修繕対象
P型1級複合受信機 95回線
※仕様・姿図については図面No.3/3参照

1階平面図 S=1/300

津市芸濃総合文化センター火災報知設備取替修繕		縮尺 1/300
図面名称	市民ホール棟 1階平面図	原図：A 3
		No. 2/3
津市建設部営繕課		

注 記

1. 今回修繕は既設複合盤のキャビネットを再利用し、新設複合受信機（壁掛型）を内蔵する。
上記に伴い、架台及びブランクプレートの取付を行う。

修繕に伴う複合受信機の結線替え及び調整等を本修繕に含むこと。
2. 端末機器及び配管配線は既設を流用する。（既設機器 メーカー：能美防災株式会社）
3. 複合盤仕様

1）P型1級、壁掛型、窓式、主音響（音声警報）・予備電源内蔵
蓄積式、自動断線警報機能付

2）操作無効機能付

3）履歴リスト機能（通常履歴10,000件）

4）表示内訳

・火災表示

44L

・スプリンクラー放出表示

10L

・消火栓ポンプ始動表示

1L

・閉鎖型スプリンクラーポンプ始動表示

1L

・開放型スプリンクラーポンプ始動表示

1L

・消火栓ポンプ呼水槽3減水表示

1L

・閉鎖型スプリンクラーポンプ呼水槽1減水表示

1L

・開放型スプリンクラーポンプ呼水槽2減水表示

1L

・消火水槽減水表示

1L

・充水槽1減水表示

1L

・充水槽3減水表示

1L

・キュービクル異常表示

1L

・発電機異常表示

1L

・浄化槽異常表示

1L

・防火戸、シャッタ閉鎖表示

7L

・垂れ壁降下表示

2L

・排煙口開放表示

2L

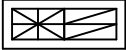
・排煙ファン始動表示

1L

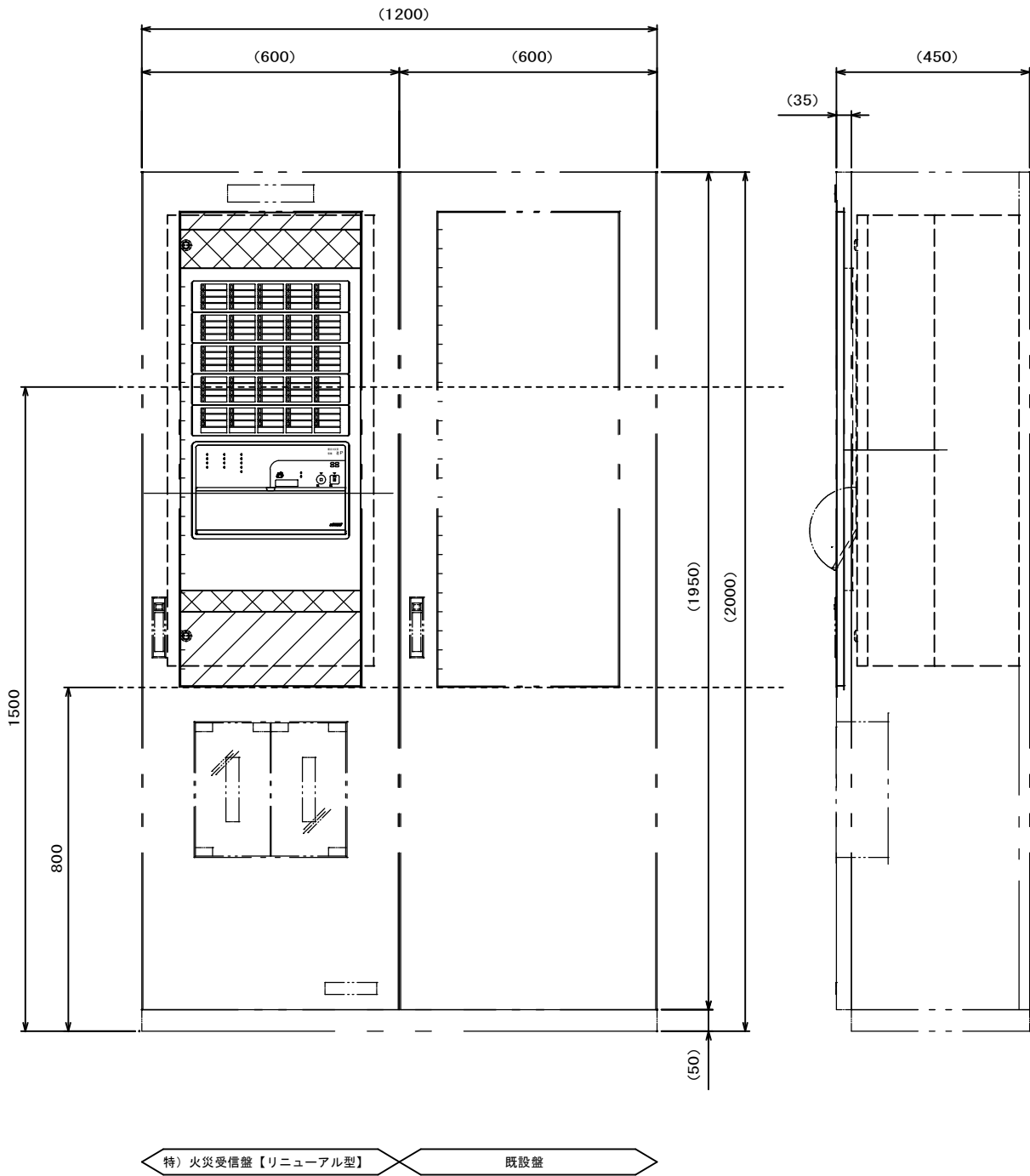
+ 17L（予備） = 95L

5）専用感知器回線数 9L

6）諸表示部（5L標準装備）
4. 地区ベル鳴動方式は一斉鳴動方式とする。
5. 防火防排煙制御方式は既存同様とする。
6. 操作部の高さは床面より0.8m～1.5m以下の範囲とする。



複合盤 参考姿図



津市芸濃総合文化センター火災報知設備取替修繕		縮尺 —
図面名称	複合受信機 仕様・姿図	原図：A 3
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. 3/3